

2009年度第2四半期 決算説明会資料

2009年9月17日

株式会社  シーイーシー

第2四半期概況

2009年度 第2四半期業績概況

(單位:百万円)

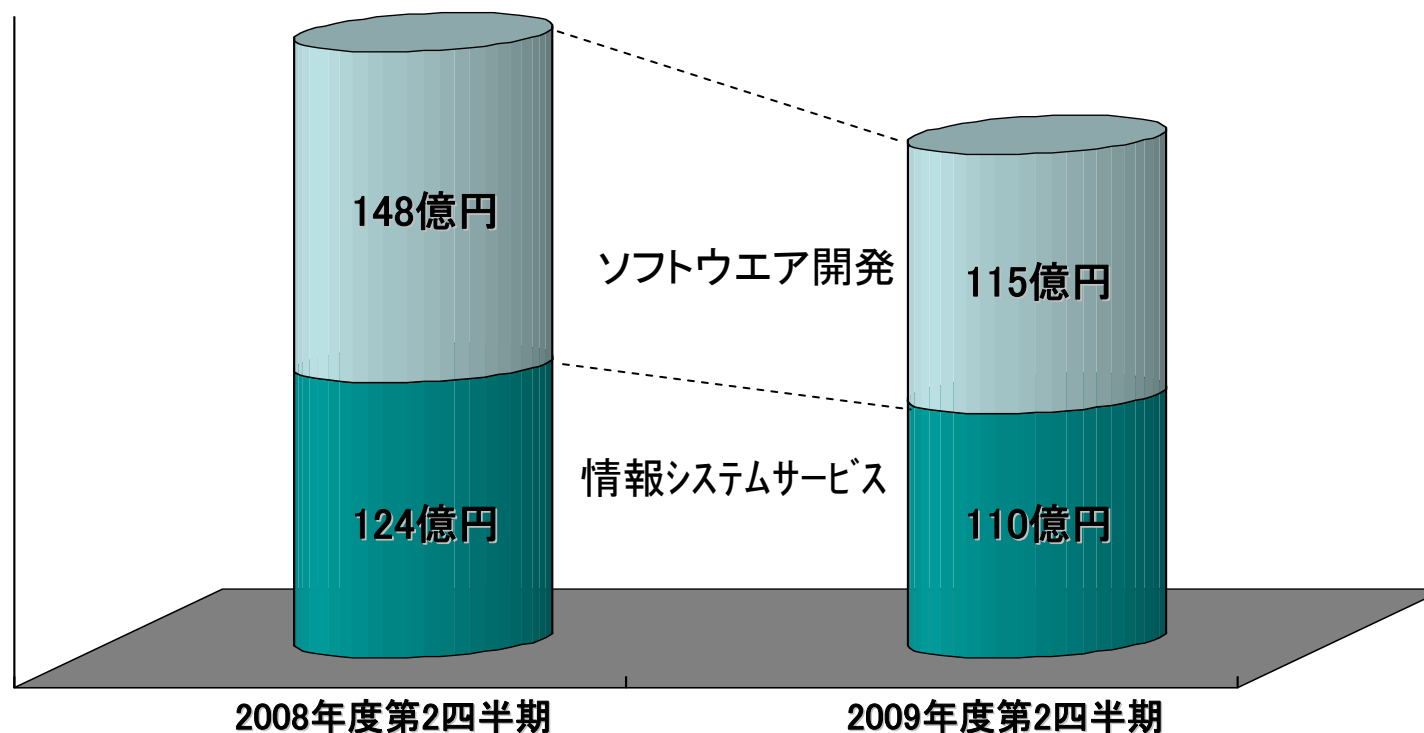
	2008年度 第2四半期	2009年度	
		第2四半期	前年差額 (比率)
売上高	27,247	22,506	△4,741
営業利益	1,390	△854	△2,244
(営業利益率)	5.1%	—	—
経常利益	1,446	△773	△2,219
(経常利益率)	5.3%	—	—
当期純利益	602	△1,278	△1,880
(当期純利益率)	2.2%	—	—

2009年度 第2四半期のポイント

■売上高 225億6百万円

前年比 47億41百万円(17.4%)減

- ソフトウェア開発事業 115億円(前年比 33億円 22%減)
- 情報システムサービス事業 110億円(前年比 14億円 11%減)

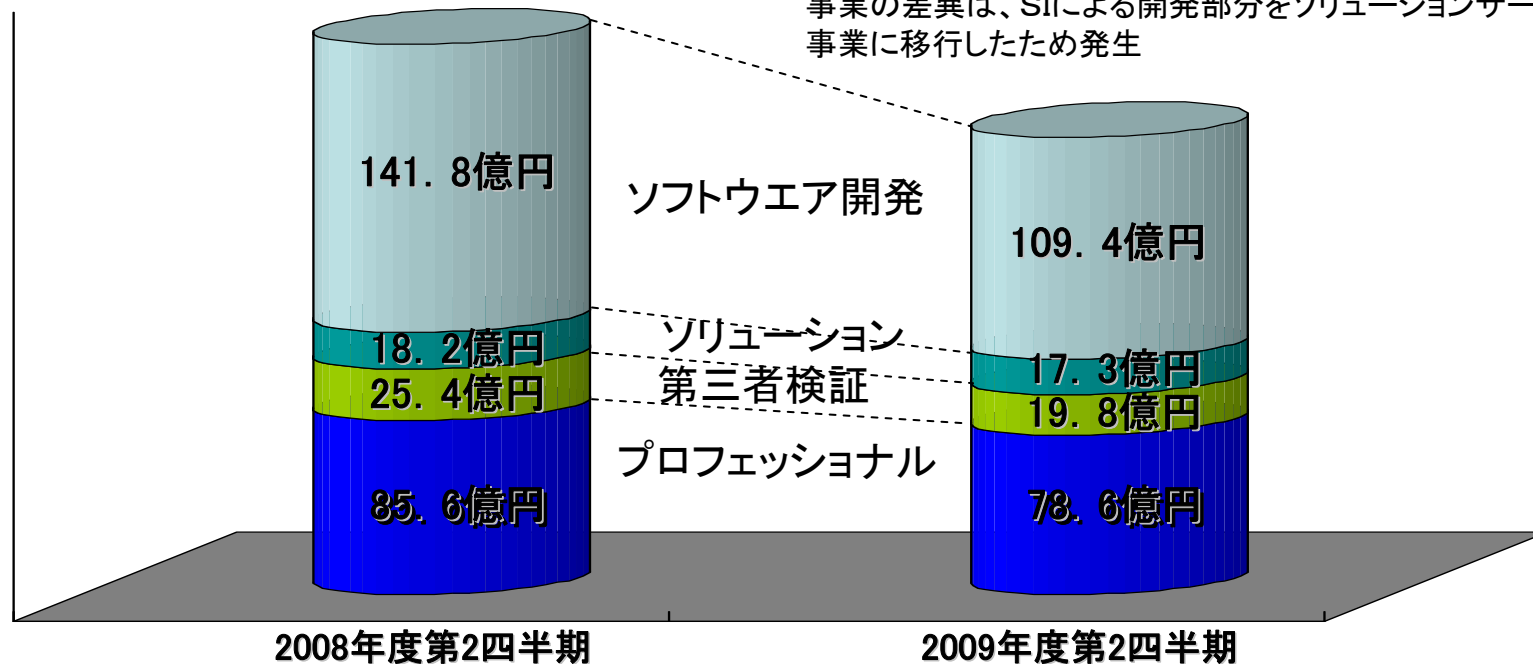


2009年度 第2四半期のポイント

◆新規セグメント

➤ソリューションサービス事業	17.3億円(前年比 0.9億円 4.9%減)
➤第三者検証サービス事業	19.8億円(前年比 5.6億円 22.0%減)
➤プロフェッショナルサービス事業	78.6億円(前年比 7.0億円 8.1%減)
➤ソフトウェア受託開発事業	109.4億円(前年比 32.4億円 22.8%減)

※ソフトウェア受託開発事業と旧セグメントのソフトウェア開発事業の差異は、SIIによる開発部分をソリューションサービス事業に移行したため発生



ソリューションサービス事業

	08年	09年
CRM/xRM <ul style="list-style-type: none"> ● DynamicsCRM : MSとの協業強化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 医療分野に本格展開(受注 2社) 	6.2億	6.1億
RaLC(生産・物流改革ソリューション) RaLC <ul style="list-style-type: none"> ● 製造業を中心に設備投資が低調、その影響を受け 延伸案件が増加 	1.0億	0.5億
その他、主要なソリューション <ul style="list-style-type: none"> ● ERP : 商社向けは堅調 ● SecurePrint : サーバレス版(Lite)の提供開始 	11.0億	10.7億
ソリューションサービス事業 計	18.2億	17.3億

第三者検証サービス事業



	08年	09年
エンベデッドシステム	23.7億	18.3億
● 主力となる携帯電話向け検証の売上減		
ビジネスシステム	1.7億	1.5億
● 業務パッケージ検証、及びWebシステム検証、 コンピュータシステム評価サービス事業は伸び悩み		
第三者検証サービス事業 計	25.4億	19.8億

プロフェッショナルサービス事業

	08年	09年
プロフェッショナルサービス	66.6億	55.4億
<ul style="list-style-type: none">● PROSIS(インフラストラクチャソリューション)及び PROMSP(運用マネジメント)は堅調● プロダクト(ハードウェア/ソフトウェア)販売が大幅減		
データセンターサービス & xaaS	19.0億	23.2億
<ul style="list-style-type: none">● 神奈川第二センター稼働でセンターサービスは好調に推移● SaaSサービスの提供開始<ul style="list-style-type: none">➢ PhySearch(サイト内検索エンジン)		
プロフェッショナルサービス事業 計	85.6億	78.6億

ソフトウェア受託開発事業

	08年	09年
自動車 ● 業界全体の設備投資抑制による売上の減少	26.0億	20.8億
製造 ● 電機・半導体・ロボット分野が大幅減収	36.0億	24.2億
金融 ● 投資抑制と回復遅延による売上の減少	25.0億	20.2億
その他 ● 景気後退によるサービス業のIT投資減少	54.8億	44.2億
ソフトウェア受託開発事業 計	141.8億	109.4億

2009年度 第2四半期のポイント

■利益

- ◆景気悪化に伴う受注・売上減(特に製造業、金融業)
- ◆不採算プロジェクトの拡大
- ◆省エネビジネス関連無形固定資産評価損(特別損失)

➤売上総利益 前年比 21億円減

・売上減少に伴う利益減	9億円
・不採算プロジェクトによる原価増	5億円
・棚卸し資産の評価減	2.6億円
・値下げ等	4.5億円

➤特別損失 前年比 5億円増

※主要損失の内訳

・省エネビジネス関連評価損	3.4億円
・のれん代一括償却	3.2億円

2009年度 通期の見通しと施策

2009年度 通期業績予想

(単位:百万円)

	2008年度 通期実績	2009年度	
		通期予想	前年差額 (比率)
売上高	54,304	44,000	△10,304
営業利益	2,794	100	△2,694
(営業利益率)	5.1%	0.2%	-4.9%
経常利益	2,665	100	△2,565
(経常利益率)	4.9%	0.2%	-4.7%
当期純利益	841	△950	△1,791
(当期純利益率)	1.5%	-2.2%	-3.7%

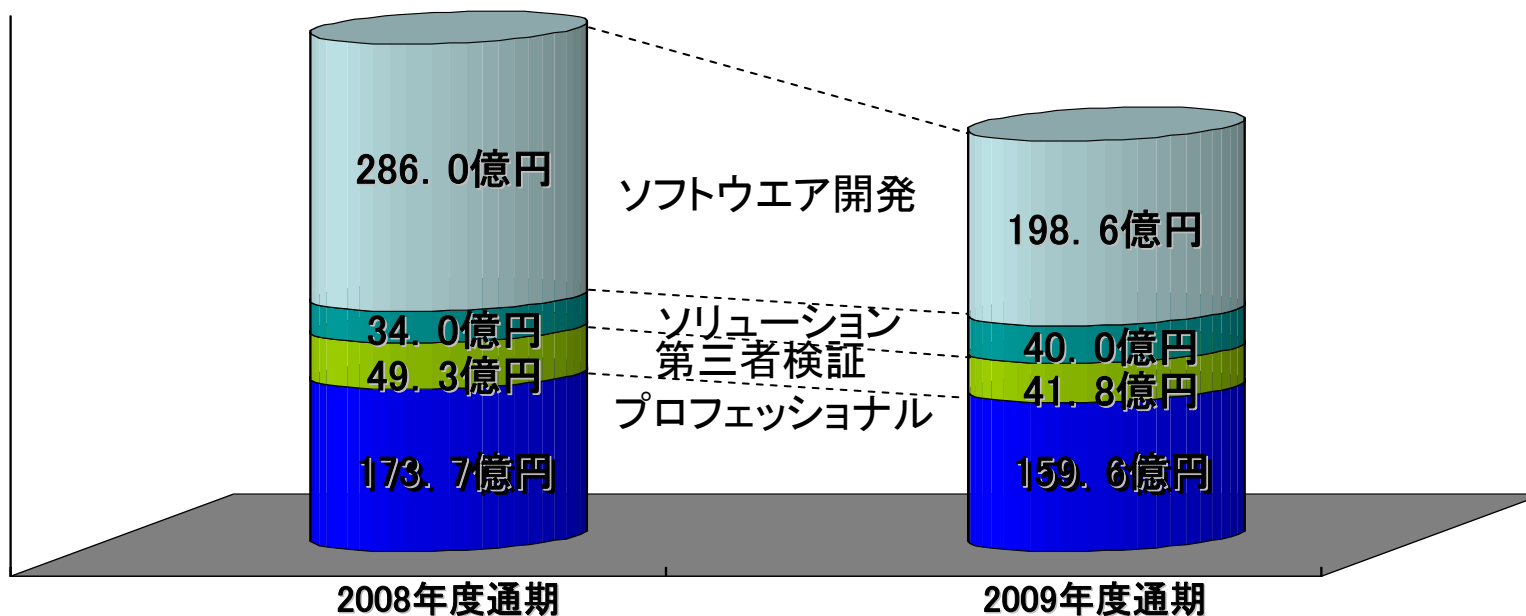
2009年度 通期のポイント

■売上高 440億円

前年比 103億4百万円(19.0%)減

◆新規セグメント

➤ソリューションサービス事業	40.0億円(前年比 6.0億円17.6%増)
➤第三者検証サービス事業	41.8億円(前年比 7.5億円15.2%減)
➤プロフェッショナルサービス事業	159.6億円(前年比 14.1億円 8.1%減)
➤ソフトウェア受託開発事業	198.6億円(前年比 87.4億円30.5%減)



ソリューションサービス事業

	08年	09年
CRM/xRM <ul style="list-style-type: none"> ● DynamicsCRM : 引き続きMSとの協業強化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ CRMからxRM : 官公庁、文教、医療分野等へ注力展開 	10.0億	16.0億
RaLC(生産・物流改革ソリューション) RaLC <ul style="list-style-type: none"> ● 3D表示・導線分析ソフト「RaFLOW」提供開始 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 古河産業と協業、作業や機材の無駄が見える化 	2.0億	3.2億
その他、主要なソリューション <ul style="list-style-type: none"> ● ERP : ピー・シー・エーとSMB市場向け協業強化 ● SecurePrint : 大手ベンダーとの協業による販売強化 	22.0億	20.8億
ソリューションサービス事業 計	34.0億	40.0億

第三者検証サービス事業



	08年	09年
エンベデッドシステム <ul style="list-style-type: none"> ● インタフェース検証(互換性検証)を強化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ MCPC Bluetooth推進委員会での互換性検証活動に対する積極的な参画 ※MCPC:モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 	46.2億	37.3億
ビジネスシステム <ul style="list-style-type: none"> ● 業務パッケージ検証、Webシステム検証を拡大 ● コンピュータシステム評価サービスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ソースコード検証 ➢ パフォーマンス検証 ➢ セキュリティ検証 ➢ 運用効率検証 <p style="margin-left: 200px;">} 3-4四半期注力分野</p>	3.1億	4.5億
第三者検証サービス事業 計	49.3億	41.8億

プロフェッショナルサービス事業

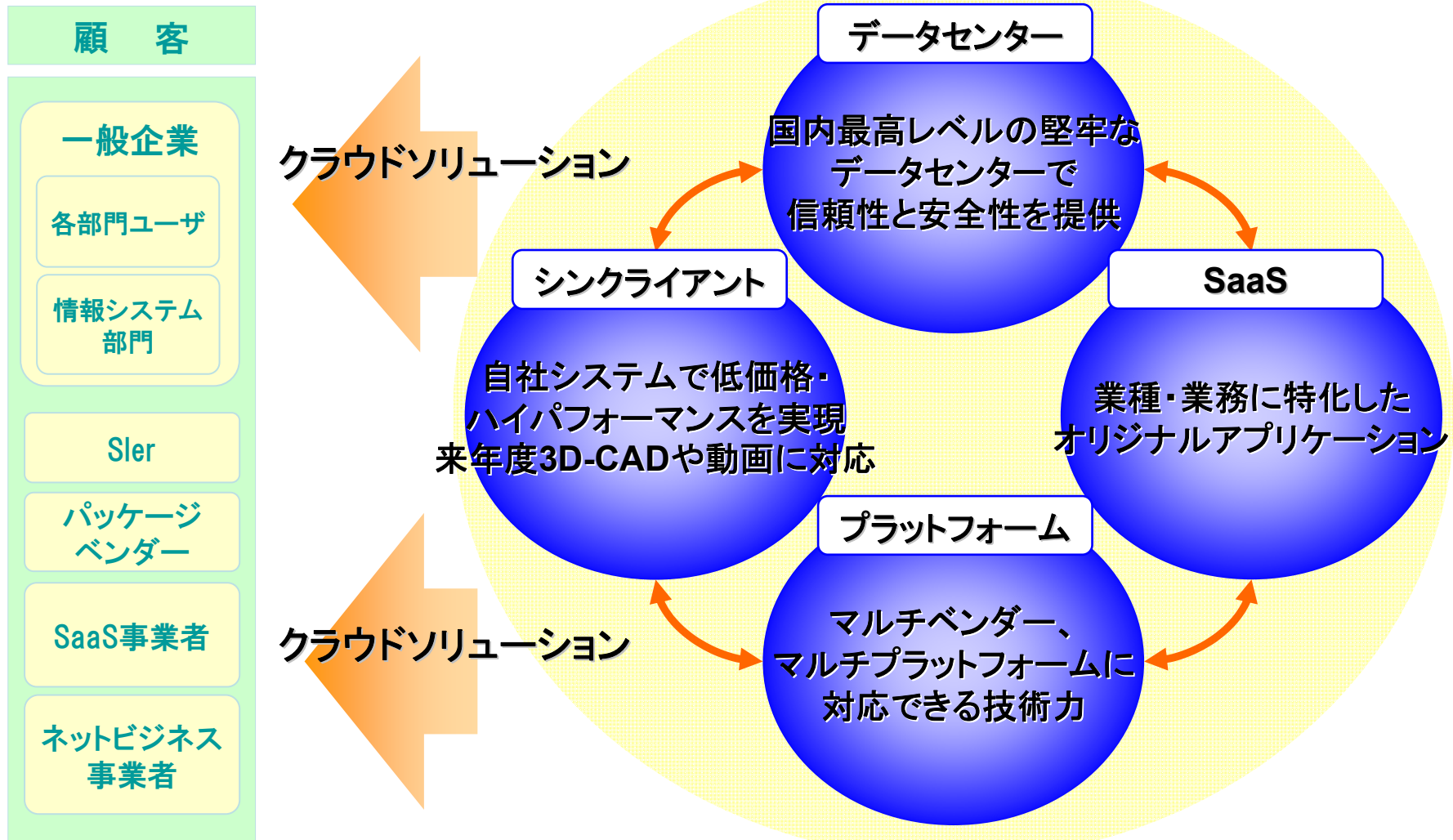
	08年	09年
プロフェッショナルサービス <ul style="list-style-type: none"> ● PROSIS : インフラストラクチャソリューション <ul style="list-style-type: none"> ➢ 9月よりデータベース無料診断サービス開始 ● PROMSP : 運用管理業務の最適化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 8月より運用業務の無料診断サービス開始 	132.6億	108.4億
データセンターサービス & xaaS <ul style="list-style-type: none"> ● クラウドコンピューティングの事業立上げ ● xaaSビジネス推進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ サイト内検索Phy Searchに次ぐ新サービスの検討 ● 東京、神奈川第二センターを核とした アウトソーシング事業の強化 	41.1億	51.2億
プロフェッショナルサービス事業 計	173.7億	159.6億

ソフトウェア受託開発事業

	08年	09年
自動車 <ul style="list-style-type: none"> ● 基幹業務システムのノウハウを核に開発案件の開拓 ● 製造との連携強化 	53.0億	41.5億
製造 <ul style="list-style-type: none"> ● 製造業向けソリューション(VR+R)による新規顧客・案件開拓 ● 受注生産品、試作品開発分野へのアプローチ強化 	71.0億	47.8億
金融 <ul style="list-style-type: none"> ● データ統合、共同利用化案件に注力 	49.0億	41.3億
その他 <ul style="list-style-type: none"> ● NGNほか通信業向け開発拡大 	113.0億	68.0億
ソフトウェア受託開発事業 計	286.0億	198.6億

クラウドソリューション

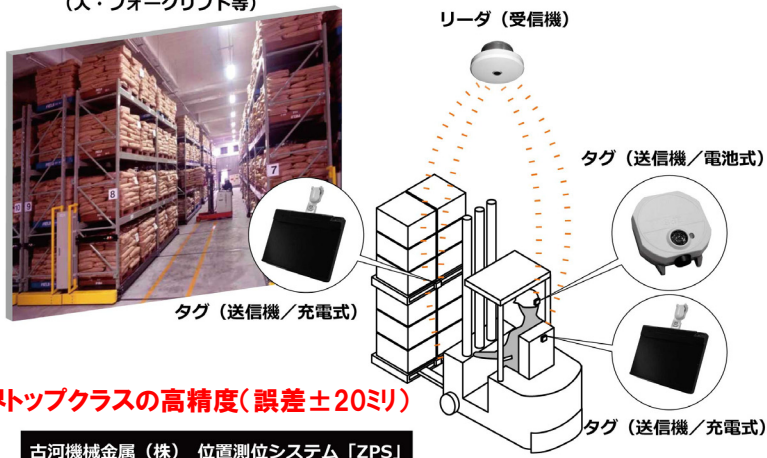
■ 国内最高レベルのファシリティと、プラットフォーム構築技術を核に
11月からクラウドビジネスに本格参入



■RaLCの3Dシミュレーション技術と古河産業様の位置測位技術を連携し、作業や機材の無駄・ボトルネックを“見える化”

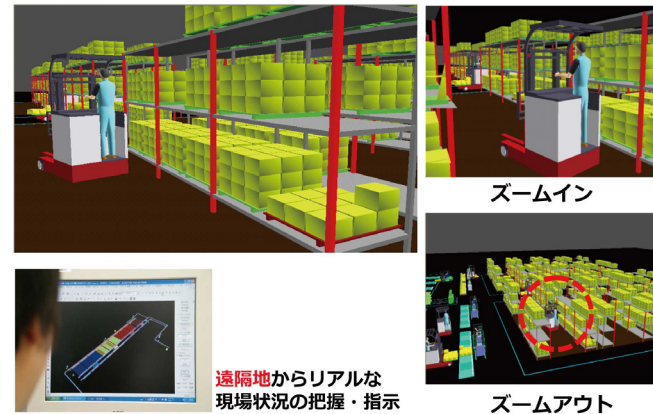
◆3D表示・導線分析ソフト RaFLOW

1 現場の位置をリアルタイムに測位
(人・フォークリフト等)



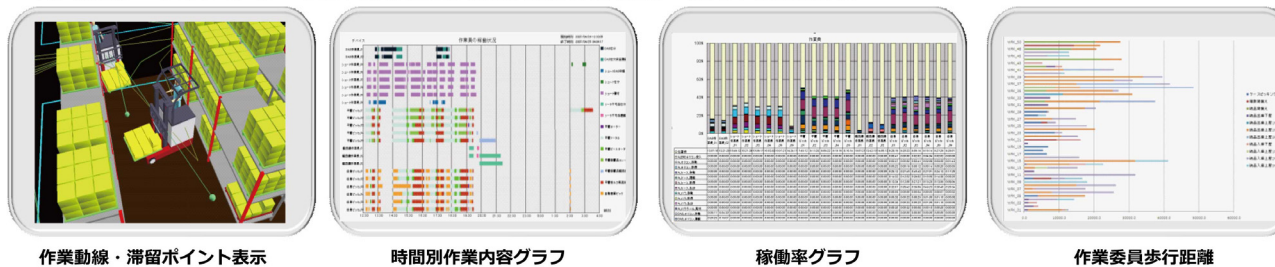
2 3D ビジュアルで現場の位置・動きを再現

取得した位置測位データから高精度な3Dビジュアルで現場を再現



3 データから課題をリアルに見える化

位置測位データのシミュレーション分析により作業や機材などのムダ・非効率を見る化





〔お問合せ先〕

株式会社シーイーシー

経理部 IR担当	046-252-4111
広報室	03-5789-2442

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。